

最高学部

2013年度卒業勉強、卒業研究報告会は、2014年3月1日（土）午前9時から午後5時30分、自由学園記念講堂で行われました。2年課程2年生による卒業勉強の報告が行われた後、4年生が、①世界と日本の文化、②環境と経済・社会、③ライフスタイル、④人間形成と教育、⑤自然の理解と創造、⑥数理モデルとインターフェイスの、6つのテーマ別ごとに共通テーマのもとグループで研究を進め、その成果を報告しました。

また、休憩時間には3月30日に行われるシンポジウム「向山緑地・立野川から始める地域学」のお知らせがありました。

2013年度 卒業勉強 最高学部2年生〔2年課程〕

食の在り方を考えるー最高学部のより良い食の提案ー

秋田 智子 荒井 美慧 板垣 可奈子 市川 ゆり子 久保 あやめ 小松 恵美
宮下 まるみ

2013年度 卒業研究 最高学部4年生〔4年課程〕

〔世界と日本の文化〕

1 飛翔と重力ー「個人」・「共同体」・「至高」

生の許しと行動倫理ー羽仁もと子・パウロ・イエスの思想の「型」ー 新井 薫

間現存在の逃れられない虚像と牽引する間存在の相互包摂的態度

ー自己疎外を誘引する「人柄」の考察ー

磯辺 尚志

『地獄変』に見る美的価値

大沼 加苗

北欧神話ーロキはなぜ「悪神」と呼ばれるのかー

神澤 咲子

アイヌ民族の同化政策における和名化

柴谷 裕亮

『海と毒薬』論ー集団に埋没する個人ー

津島 稔季

ヨブ記における悪と自由

松村 岳史

初期作品に見る阿部公房の世界観と創作目的

ー「宇宙詩人」阿部公房の実験的執筆活動を追ってー

山口 柊

〔環境と経済・社会〕

2 森と自由学園との関係再構築に向けての研究

門倉 拓郎 増川 喜一

〔ライフスタイル〕

3 生活領域におけるエネルギーの効率的な利用と実践方法の工夫の考察と試行

岡本 真義 佐藤 慎 プラダン・プリハスパティ

4 「生活情報媒体」の考察と学園広報の効果的な媒体利用の研究

石川 恵一 柄澤 凌 八木 政人

5 生活の中の布とその色の機能、精神的な表現と役割

蟻川 文太郎 小金井 萌花

6 地域の中の自由学園ー記念学寮と地域社会との共生の考察と実践的研究ー

原 健斗

〔人間形成と教育〕

- 7 生活学校の展開と役割－盛岡友の会生活学校と北海道本別生活学校を事例にして－
酒井 理人 田中 真人
- 8 幼児の運動活動に関する考察と提案－生活団を事例に－
本岡 葵
- 9 JIYU アフタースクールと地域のつながりに関する考察
－地域スポーツへの可能性－
仁科 智子

〔自然の理解と創造〕

- 10 自然と人とのかかわり－武蔵野の野生生物－
須藤 秀美 森 大樹 山口 諒
- 11 自然と人とのかかわり－武蔵野で栽培されている作物の利用について－
梅津 史雅 江村 明悟 神谷 哲男 橋本 奈々 丸山 美麻

〔数理モデルとインターフェイス〕

- 12 自由学園男子部教室用椅子の制作
池田 駿介 鈴木 信
- 13 全国友の会「生活時間調べ」にみる日本女性のライフスタイル
河上 雄太 長 左絵